

平成30年度以降における推進体制（推進会議・運営会議・取組ワーキンググループ）の構築について

【ビジョン推進会議等設置期間：平成29（2017）年度から平成32（2020）年度まで】

現在の推進体制【確認】

(1) 推進会議

- ア 役割 ビジョンの進行管理（WG報告・地域連携促進・意思決定）、新しい人材の発掘・育成
- イ 実施回数 4回
4月、7月、11月、1月
- ウ 委員構成 47名（重複される方も含む。）
地域代表（各街区・棟・学区代表）20名
地域団体等（学区社協・民協・自主防災会・公園愛護協力会・PTA）14名
事業者 5名
行政（市役所・区役所・学校） 6名
学識経験者 2名+α
- ※ 顧問3名
京都美術工芸大学工芸学部 高田光雄教授 立命館大学産業社会学部 乾亨教授
龍谷大学短期大学部 加藤博史教授
- ※ オブザーバー2名 伏見区社会福祉協議会事務局、京都市都市計画局住宅室
- エ 事務局機能 都市計画局都市総務課NT担当、京都文教大学、(株)地域計画建築研究所（アルパック）

(2) 運営会議

- ア 実施回数 年10回程度（推進会議準備4回含む。）
- イ 構成
- 【各ワーキンググループ長や取組の中心を担う住民・事業者】（現状）

防災・防犯WG	珍田氏	
子ども若者支援WG	上田氏	
まちづくり通信作成担当	神門氏	
魅力発信・賑わいWG	中嶋氏	
向島学区（向島学区自治連合会会長）	上代氏	*魅力発信・賑わいWG
向島南学区（向島南自治会連合会会長）	野崎氏	*防災WG
伏見区社会福祉協議会	田中氏	

- 【事務局】

 - 都市計画局都市総務課NT担当（主）
 - 京都文教大学（副）
 - 伏見区役所地域力推進室総務・防災担当、まちづくり推進担当（副）
 - 京都市住宅供給公社（副）
 - =株式会社地域計画建築研究所（アルパック）による会議運営等支援

平成30年度以降

(1) 推進会議

- ア 役割 ビジョンの進行管理（WG報告・地域連携促進・意思決定）、新しい人材の発掘・育成
- イ 実施回数 4回
前年度同様
- ウ 委員構成 47名（重複される方も含む。）
前年度を引き継ぐ
- エ 事務局機能
30年度前半 これまでの体制を引き継ぐ（都市総務課NT担当、京都文教大学、コンサル等）
→ 30年度後半 運営会議を核とした運営+都市計画局等によるフォローアップ

33年度以降「まちづくり組織」へとつなげる

【ビジョン推進テーマ3 住民主体の向島ニュータウン（地域）全体のまちづくり組織の設立より抜粋】
「推進会議」をまずは基盤として、地域における自治力を向上させながら、近い将来において、地域が主体となってまちづくりの取組を進めるための「まちづくり組織」（※）を設立することを目指します。
※「まちづくり組織」は、地域の住民団体、事業者、住宅供給公社により構成されることが想定され、地域主体で、京都市等行政機関と協働関係により、まちづくりの方向性を定めたり、具体的なまちづくり活用に取り組んだりする組織として想定しています。

(2) 運営会議

- ア 実施回数 年10回程度
- イ 構成
- 【各ワーキンググループ長や取組の中心を担う住民・事業者】
さらに拡充
- 【事務局】

 - 30年度前半 これまでの体制を引き継ぐ（都市計画局、京都文教大学、コンサル等）
 - 30年度後半 住民・事業者による主体的な運営会議の運営
都市総務課NT担当・京都文教大学・伏見区役所・京都市住宅供給公社・（コンサル）
によるフォローアップ

現在の推進体制【確認】

平成 30 年度以降

(3) 取組ワーキンググループ

- ア 構成 地域住民・団体や事業者、関連行政部署等（新たな人材等を随時追加）
- イ 実施回数 それぞれのグループにより開催回数を決定
- ウ 進め方等 5つのWGを中心に取組を継続検討、実施に向けた調整
 具体的な取組へと発展していくものは活動G等として、様々な団体・組織・グループで取組を実施。
 進捗確認担当は取組項目の進捗状況を確認、実施主体等に働きかけるなどして取組を進めるよう促し、またその協力も行う。

WG名	進捗確認担当	取組項目	WG長や役割	活動G等
魅力発信・賑わい (観光化推進含む)	(主)京都文教大学 (主)住宅供給公社 (主)都市総務課 (副)区役所企画	情報発信等 1~4, 7~13, 20~23, 67 商業施設等 97~105 教育 5, 6 雇用 111, 112	WG長：杉本教授	○向島及び向島NT 魅力・賑わいのための組織 ○向島まつり実行委員会 ○ラジオ番組等で地域情報化
住環境 (交通含む)	(主)都市総務課 (副)住宅供給公社 (副)京都文教大学	24~40, 65, 66, 106~110	WG長：小林講師	○市営住宅の改善に向けてのアンケート調査 ○住環境パトロール ○バス路線の改善 ほか
子ども若者支援 (子育て世帯等支援含む)	(主)京都文教大学 (副)区役所はぐくみ (副)住宅供給公社 (副)都市総務課	41~52	WG長：三林教授 司会：増田氏・高木氏 書記：長澤氏(龍谷大学生)	○子ども若者拠点づくり実行委員会 ○子育て世代悩みなんでも相談窓口 ○藤ノ木子どもキッチン ほか
暮らし安心 (中国帰国者等対応及び交流促進含む)	(主)京都文教大学 (副)都市総務課 (副)区役所福祉部 (副)住宅供給公社	14~19, 53~64	WG長：吉村教授 (馬場教授) (潘教授)	○障害当事者による組織づくり ○先進事例や施設の視察、交流会
防災防犯	(主)都市総務課 (副)区役所総務防災 (副)区役所まち推 (副)京都文教大学 + α	68~96	防災WG長：珍田氏 書記：佐藤氏(愛隣館) 防犯WG長：雪丸氏	○各学区自主防災会 ○各防犯・交通安全に係る地域役員

- ※ 小中跡地活用(113)に関しては、各WGでも意見をまとめるなどし、別途、横断的に話し合う機会等を設ける。
(第3回話し合う集いにおいても実施済み)
- ※ 向島の将来等を展望した土地利用等の見直しについても、各WGの取組項目を踏まえながら適宜話し合う。
- ※ 大学教員がWG長となっているところは、今年度中に住民代表への交代を目指す。

(4) まちづくり通信

- ア 発行主体 推進会議
- イ 企画・編集主体 運営会議(事務局)と地域住民有志(神門氏)、中文訳：京都文教大学
- ウ 配布方法 自治会長・管理組合理事長等を通じた全戸配布(向島・向島南は回覧) 8000部
- エ 印刷費等費用 京都市からの委託費

(3) 取組ワーキンググループ

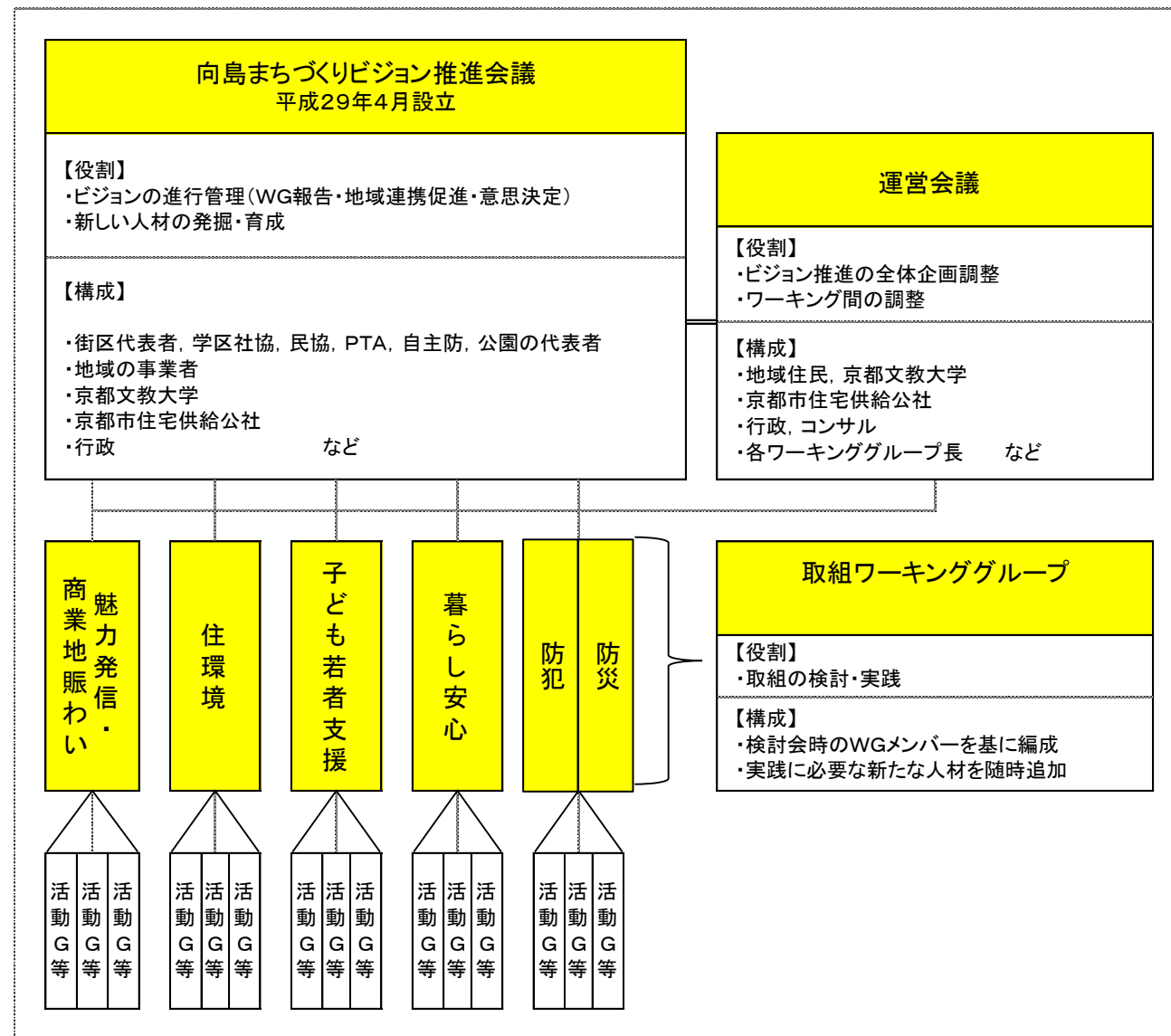
- ア 構成 地域住民・団体や事業者、関連行政部署等（新たな人材等を随時追加）
- イ 実施回数 それぞれのグループにより開催回数を決定
- ウ 進め方等 これまでの進め方を基本としながら、以下の点を重視する。
 ・ 取組ワーキンググループはビジョンに基づく、または関連する取組の進捗確認や共通課題の解決、横連携などを目的・重視した場とし、活動G等の具体的な活動主体や参加者を増やしていくことに注力する。
 30年度前半 リーダーだけでなく、WG運営体制を地域主体に徐々に移行
 → 30年度後半 都市総務課NT担当・京都文教大学・伏見区役所・京都市住宅供給公社・(コンサル)によるフォローアップ

WG名	進捗確認担当	取組項目	地域主体の体制	活動G等
魅力発信・賑わい (観光化推進含む)	(主)京都文教大学 (主)住宅供給公社 (主)都市総務課 (副)区役所企画	情報発信等 1~4, 7~13, 20~23, 67 商業施設等 97~105 教育 5, 6 雇用 111, 112	WG長：住民・事業者 書記：	29年度の活動Gに加えて、新たな活動Gの立ち上げ、担い手づくりを目指す
住環境 (交通含む)	(主)都市総務課 (副)住宅供給公社 (副)京都文教大学	24~40, 65, 66, 106~110	WG長：住民・事業者 書記：	
子ども若者支援 (子育て世帯等支援含む)	(主)京都文教大学 (副)区役所はぐくみ (副)住宅供給公社 (副)都市総務課	41~52	WG長：住民・事業者 書記：	
暮らし安心 (中国帰国者等対応及び交流促進含む)	(主)京都文教大学 (副)都市総務課 (副)区役所福祉部 (副)住宅供給公社	14~19, 53~64	WG長：住民・事業者 書記：	
防災防犯	(主)都市総務課 (副)区役所総務防災 (副)区役所まち推 (副)京都文教大学 + α	68~96	防災WG長：珍田氏 書記：佐藤氏(愛隣館) 防犯WG長：雪丸氏 書記：	

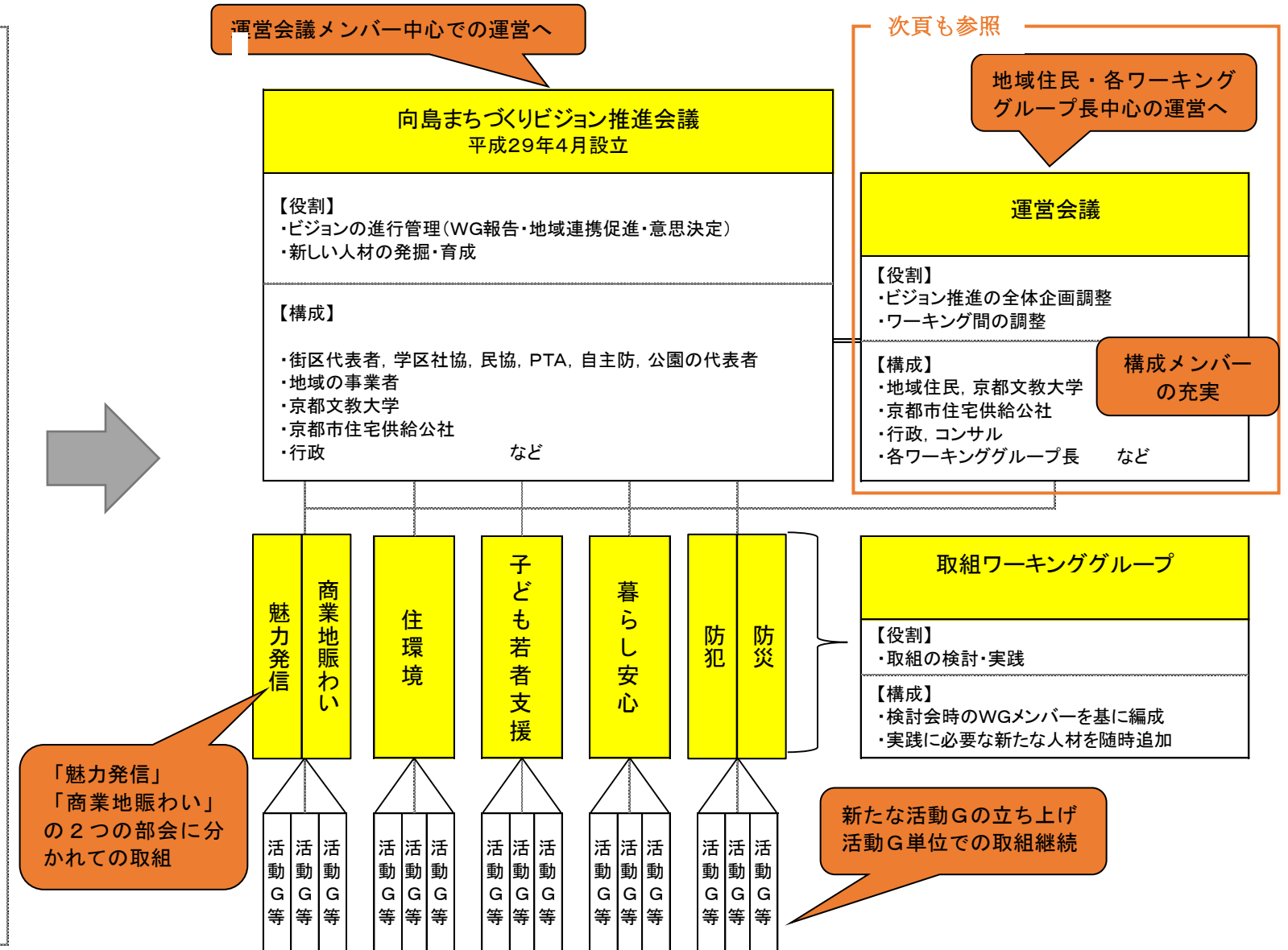
(4) まちづくり通信

- ビジョン取組項目 22「タウン誌の発行」、41「地域放送局・タウン誌やポータルサイトによる情報発信への子どもの参加」による発行体制へと以降する(30年度前半)
- ア 発行主体 推進会議
- イ 企画・編集主体 運営会議と地域住民有志(神門氏ほか活動Gを立ち上げ)、中文訳：京都文教大学
- ウ 配布方法 自治会長・管理組合理事長等を通じた全戸配布(向島・向島南は回覧)
30年度後半以降は向島地域外への発信を目指した配布先の拡大を検討
- エ 印刷費等費用 京都市からの委託費(31年度以降は自主財源による発行を目指す)

現在の推進体制関係図【確認】

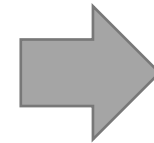


平成 30 年度以降



平成29年度（平成30年1月現在）

	団体・所属名	氏名
WG代表等	防災防犯WG * 防災	珍田 幸夫
	防災防犯WG * 防犯	雪丸 敏明
	商業地賑わい・魅力発信WG/まちづくり通信住民リーダー	神門 正和
	子ども若者支援WG	上田 広明
	子ども若者支援WG	山内 忠敏
	子ども若者支援WG	長谷川 光弘
地域住民代表	向島学区自治連合会会長 * 商業地賑わい・魅力発信	上代 眞廣
	向島南自治会連合会会長 * 防災	野崎 嘉津男
	向島二ノ丸学区社会福祉協議会	高木 春美
	二の丸北学区社会福祉協議会	日高 秀昭
	向島藤ノ木学区社会福祉協議会	田嶋 一憲
事業者	中嶋農園 * 商業地賑わい・魅力発信	中嶋 直己
	京都市住宅供給公社向島ニュータウン営業所長	江籠 義貞
	伏見区社会福祉協議会事務局長	田中 聖
	むかいじま病院 * 暮らし安心	岩城 隆久
	むかいじま健幸プラス * 暮らし安心、子ども・若者支援、商業地賑わい 等	大濱 育恵
	京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」* 防災	佐藤 雅裕
京都市	京都市都市計画局都市総務課	菱田 栄造
	京都市都市計画局都市総務課	藤田 徹
	京都市都市計画局都市総務課	片山 尚彦
	京都市伏見区役所	東山 和之
	京都市まちづくりアドバイザー	亀村 佳都
京都文教大学	京都文教大学総合社会学部教授	杉本 星子
	京都文教大学臨床心理学部教授	吉村 夕里
	京都文教大学総合社会学部講師	小林 大祐
	京都文教大学フィールドリサーチオフィス	押領司 哲也
	京都文教大学フィールドリサーチオフィス	愚川 聡晃
(株)地域計画建築研究所	(株)地域計画建築研究所	戸田 幸典
	(株)地域計画建築研究所	嶋崎 雅嘉
	(株)地域計画建築研究所	大河内 雅司



平成30年度

	団体・所属名	氏名
WG代表等	防災防犯WG * 防災	珍田 幸夫
	防災防犯WG * 防犯	雪丸 敏明
	商業地賑わい・魅力発信WG/まちづくり通信住民リーダー	神門 正和
	子ども若者支援WG	リーダー
	商業地賑わい・魅力発信WG * 商業地賑わい	リーダー
	商業地賑わい・魅力発信WG * 魅力発信	リーダー
	暮らし安心WG	リーダー
	住環境WG	リーダー
地域住民代表	向島学区自治連合会会長 * 商業地賑わい・魅力発信	上代 眞廣
	向島南自治会連合会会長 * 防災	野崎 嘉津男
	向島二ノ丸学区社会福祉協議会	高木 春美
	二の丸北学区社会福祉協議会	日高 秀昭
	向島藤ノ木学区社会福祉協議会	田嶋 一憲
事業者	中嶋農園 * 商業地賑わい・魅力発信	中嶋 直己
	京都市住宅供給公社向島ニュータウン営業所長	江籠 義貞
	伏見区社会福祉協議会事務局長	田中 聖
	むかいじま病院 * 暮らし安心	岩城 隆久
	むかいじま健幸プラス * 暮らし安心、子ども・若者支援、商業地賑わい 等	大濱 育恵
	京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」* 防災	佐藤 雅裕
京都市	京都市都市計画局都市総務課	菱田 栄造
	京都市都市計画局都市総務課	藤田 徹
	京都市都市計画局都市総務課	片山 尚彦
	京都市伏見区役所	東山 和之
	京都市まちづくりアドバイザー	亀村 佳都
京都文教大学	京都文教大学総合社会学部教授	杉本 星子
	京都文教大学臨床心理学部教授	吉村 夕里
	京都文教大学総合社会学部講師	小林 大祐
	京都文教大学フィールドリサーチオフィス	押領司 哲也
	京都文教大学フィールドリサーチオフィス	愚川 聡晃
(コンサル)	((株)地域計画建築研究所) * 上半期まで	戸田・大河内・嶋崎